

会 議 結 果

会議名	令和2年度 第4回西尾市地域公共交通活性化協議会
日時	令和3年3月26日(金) 午前9時30分～10時40分
場所	西尾市役所 21会議室
出席者	西尾市地域公共交通活性化協議会委員16名 事務局4名 (欠席:松尾幸二郎副会長、彦坂光成委員、澤木徹委員)
傍聴者	0名(感染防止対策のため傍聴席なし)
議 事	<p>1 開会・あいさつ</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・あいさつ・配布資料確認・にしがま線利用促進PR動画紹介 <p>○石原会長</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナワクチンの接種が始まる。終息を願うばかりである。運転免許を自主返納した人からバスが近くに通った喜びの声を聞いた。今後もこのような声を多くしていきたい。一方、市のアンケートで西尾市の住みにくさの理由に交通の便の悪さを挙げた人が多数いた。コロナ対策をしながら改善していきたい。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・人事異動による委員の変更 名古屋鉄道株式会社東部支配人室営業総務課課長 中嶋 久 <p>2 議題</p> <p>(1) バス交通再編後の利用状況について(報告事項)</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・資料1により説明。 <p>○上井委員代理 杉浦(中部運輸局愛知運輸支局)</p> <ul style="list-style-type: none">・4月の再編後、利用者の声などは聞いているか。利用状況の分析はされているか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・再編後、利用者の声などを主にダイヤ改正の形で反映しており、ある程度解消されていると認識している。再編後の利用者の声は5月以降にアンケート調査を行い、公共交通全般の質問の他再編後の利用などを聞き、その結果を分析していく。 <p>(2) バスロケーションシステムの導入について(報告事項)</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・資料2により説明。 <p>○松尾副会長(欠席により事前質問・意見を事務局が代読。)</p> <ul style="list-style-type: none">・西尾市のコミバスは様々な世代の方が利用されているのでバスロケーションシステム導入はとても有益だと思う。リアルタイムの情報提供だけでなく、蓄積された過去の情報を活用して、時刻表の調整などの運行管理や、便や天候などによる遅延傾向や混雑傾向などの情報提供ができてくるとさらに良いのではないかなと思う。・今回バスロケーション導入路線はコミバス(くるりんバス、いっちゃんバス)のみか。今後は、名鉄東部交通バス、ふれんどバス、佐久島フェリーなどを同じシステムで見れるようにすると、さらに有益になるのではないかな。

○事務局

- ・今回はコミュニティバスのみ。ふれんどバスは導入済み。同じシステムを導入するのは難しいが、グーグルマップ上に各データを公開することで連携が取れるようになる。

(3) 西尾市地域公共交通計画の進捗について（報告事項）

○事務局

- ・資料3により説明。

○石原会長

- ・資料3の地域の方とのディスカッション、これをやりたかった。軽自動車以上の普通車の保有率が西尾市は全国2位ながらも、自分たちの公共交通を考える場をつくっていききたい。

○松尾副会長（事務局代読）

- ・特に名鉄東部交通バスでコロナの影響を大きく受けていることをあらためて確認した。この影響については人々の活動自粛によるところが非常に大きいと思われ、名鉄東部交通バスだけでなく、全国の様々な公共交通で類似の傾向にあると思われる。県内では先日、コロナ禍の影響を理由にタクシー事業者4社が事業廃止となったということもあった。一般に交通需要は派生需要であり、減少した活動分の公共交通需要を取り戻すことは容易ではない。従って、このような状況下では公的な補助の拡大などの対応が必要ではないかと思う。コロナ禍が過ぎ去ったときに路線バス系統やタクシーがなくなってしまうということがないよう、今は公的な補助を拡大してでも守らなければいけないと思っており、それができるのは国や県だと思う。
- ・愛知県交通対策課や愛知運輸支局で、どのような考えのもと、具体的にどのような検討がなされているかについて紹介いただきたい。
- ・タクシー事業者への補助についても何かしらの対応が検討されているか。

○上井委員代理 杉浦（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・バスの補助要件緩和、幹線系統・フィーダー系統ともに増額している、幹線系統では例えば名鉄東部交通だと数百万単位で増額している。フィーダー系統については、西尾市は対象ではないものの、全体で300万円増額している。タクシー補助に関しては事業廃止にならないよう注視しており廃止になってしまっても、そこが交通空白地にならないようにしている。タクシー事業の継続には力を入れていく。

(4) 次期「地域公共交通計画」策定スケジュールについて（協議事項）

○事務局

- ・資料4により説明。

○上井委員代理 杉浦（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・法改正について、大規模な法改正にはなっていないとなっているが、今回の改正では公共交通計画を作り毎年評価しなければならない。補助金の交付を受けるには計画が必須という改正があった。計画の重要性を市は認識してほしい。
- ・計画の策定スケジュールについて、アンケート調査について、誰に対して行うのか。このスケジュール感で間に合うのか。評価検証が4月～7月で本格運行が10月だが大丈夫なのか。補助金の申請が6月末提出だが大丈夫なのか、それとも幹線補助の方には影響ないのか。
- ・アンケートの内容は現在のところ考えているのか。

○事務局

- ・計画の重要性は認識しており、スケジュールが厳しいことも認識している。
- ・利用者とランダム市民アンケートを実施する。補助金の6月末には反映させる。本格運行開始のためにアンケートをするのではなく、計画策定の参考とする。アンケートの中で対応可能なものは10月の本格運行へ反映させる。

○採決一原案可決（全員承認）

(5) 令和3年度事業計画（案）及び予算（案）について（協議事項）

○事務局

- ・資料5により説明。

○上井委員代理 杉浦（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・意見として。他市でみられたことだが、計画の協議をするときに目次だけを議論しないように西尾市が何を目標しているのか、住民に対してよりよい公共交通を考えてほしい。

○事務局

- ・西尾市が目指す公共交通のビジョンは若干の修正はあるものの、前回の計画の延長で進める方向である。計画を作る作業ではなく内容が大事。何が足りていないのか、何が必要なのか本質を議論していく。運輸支局にも相談しながら進めていく。

○大竹委員（名鉄東部交通株式会社）

- ・昨年度の計画にバスロケーションシステムは記載されていたか。

○事務局

- ・計画にも予算案にも載せた。試験的導入として会議にかけさせていただいた。結果的には令和3年度の実施になった。

○大竹委員（名鉄東部交通株式会社）

- ・こちらもバスロケの導入を考えていたところだった。できるだけ情報の共有をしたい。
- ・タクシーについて。助成金はありがたかった。西尾市公共交通時刻表のタクシーについて書かれている部分をもう少し推してもらいたい。タクシーに出来ることとバスにできることは違うので協調できるはず。

○採決一原案可決（全員承認）

(6) 役員の改選について（協議事項）

○事務局

- ・退任する石原会長の後任について、松尾副会長の就任を事務局案として提示。

○採決一可決（全員承認）

○石原会長

- ・退任あいさつ。

○松尾副会長（事務局代読）

- ・就任あいさつ。

3 その他

- ・事務局人事異動報告。

4 閉会

以上